

## ～ 2014 GC(護衛艦カレー)1グランプリ開催事業 ～

「海軍のまち」佐世保で海上自衛隊と連携し、護衛艦をテーマにしたカレーグランプリの開催と商店街のお土産品の開発を展開。グランプリ会場における開発商品に対するニーズ調査が、地域に根差したオンリーワン商品を見出し、地域と商店街のつながりをアピールすることに成功した。

所在地：長崎県佐世保市本島町4-15  
TEL・FAX：0956-24-4411  
URL：<http://yonkacho.com/>  
組合員数：98名  
商店街の類型：広域型商店街

### 商店街の概要と事業を実施した背景

長崎県北部の中心都市である佐世保市。その中心部に位置する下京町、上京町、本島町、島瀬町の4つの街区で構成された全長516mにわたるアーケード商店街である。周辺には国道が平行しており、行政機関や病院等が集中していることから、バス利用の利便性も高く、市内中心部にマンション建設が近年急増し、中心市街地の人口は増加している。一方、近隣に大型複合商業施設が進出し、商業環境は厳しさを増している。そこで、競合する商業施設との差別化を図るため、まちの資源を有効活用したイベントと、観光客向けに佐世保ならではのオリジナルのお土産品を開発し、商店街への来街の促進を狙った。

### 実施した事業の概要

#### 【護衛艦（GC1）グランプリ】

平成26年12月7日に街区内の公園において、海上自衛隊佐世保地方総監部と連携して、護衛艦などで実際に作られている自慢のカレー8種類を約3,000名の参加者に試食いただき、好みのカレーを投票することで大賞を決定した。11時の開催前から家族連れなど大勢の参加者が詰めかけたために長蛇の列ができ、参加整理券を配布して入場するほどの盛況ぶり。投票に参加できなかった方も含めると来場者は11,000名を超えた。会場では護衛艦の歴史などを紹介したパネル展も開催し、「海軍のまち」として歩んで来た佐世保の歴史的背景などを知ってもらう機会となった。

#### ①護衛艦カレーグランプリオリジナル商品開発

当商店街で限定販売するお土産品を創出するため、商店街の青年部が主体となって護衛艦をモチーフに考案・製作した。開発中のオリジナル商品7種類をグランプリの会場に展示し、来場者アンケートにてマーケティング調査を実施した。大勢の来場者が調査に協力したことで消費者ニーズを把握できたうえ、新たな佐世保のご当地商品に対する市民の期待度は高まった。

#### ②自衛隊グッズや護衛艦の記念品等の販売

会場内では、防衛共済会による「海上自衛隊グッズ販売所」を設置した。イベントテーマである護衛艦の関連商品に対するお客様の反応は良く、平時の商店街では入手困難であるため、売上も好調で集客につながった。



### 成果と成功の要因



戦前から軍港のまちとして育まれてきた佐世保独自の文化を今も受け継ぐ商店街として、認知度が高まった。さらに、海上自衛隊との密接な連携を象徴する商店街のオリジナル商品は、イベントに来場された多くの方々の目に触れ、商店街のPRにつながった。マーケティング調査の結果ではお客様の反応も良く、佐世保の新たなお土産品として今後販売していくための有益なデータが得られ、商品化に手応えを感じることができた。

取り組みの特徴として、一つは佐世保の文化や風土の形成に貢献してきた商店街の歴史的背景を生かし、佐世保の活性化に向けて有力な経営資源である海上自衛隊と有機的な互惠関係を構築していること。二つは市民ニーズを商品力に反映し、佐世保らしさが生かせる新商品を開発していることである。

### 今後の取り組み

今回のマーケティング調査結果を踏まえ、青年部が中心となって開発商品群を精査し、来年度から販売を開始する予定である。商店街への来街動機につながる新たな素材として、カレーグランプリの他、年間を通して展開される商店街事業の中で開発商品を積極的にPRして売上の向上を図る。